

◆ 今週のコメント

- ・ A型肝炎の報告が1例(20歳代男性)があり、症状は、全身倦怠感、発熱、食欲不振、肝機能異常です。推定感染地域は国外(タイ)で、感染経路は経口感染です。本年初めての報告となっています。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が3例(40歳代女性1例, 60歳代男性2例)あり、本年の累積報告数は6例となっています。京都市では、肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
 - 高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について(保健医療課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
 - 京都市が実施する定期的予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
- ・ 梅毒の報告が1例(50歳代男性)あり、本年の初めての報告となっています。近年、梅毒の報告数は激増しており、昨年(2016年)の全国の報告数は4000を超え、5年間で約5倍に増えています。梅毒の感染経路や治療、予防等に関して「梅毒に関するQ&A」としてまとめられていますので、以下のホームページを御覧ください。
 - 厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

- ・ 京都市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は29.59(2,042例)となり、前週20.68(1,427例)から増加して警報レベル「30」にさらに近づきました。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 9例(肺結核 5例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 20例(肺結核 12例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 6例)うち喀痰塗抹陽性 6例】
- ・ 四類: A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 3例(第1週及び第2週追加報告分各1例含む)【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類: 梅毒 1例(早期顕症)【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	29.59	2,042
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.60	193
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.79	33
	③ 流行性耳下腺炎	0.31	13
	④ 手足口病	0.24	10
	⑤ 咽頭結膜熱	0.21	9
	⑤ 水痘	0.21	9
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

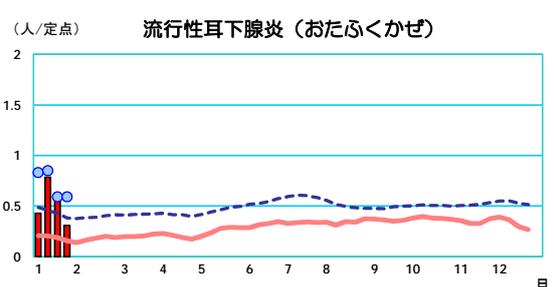
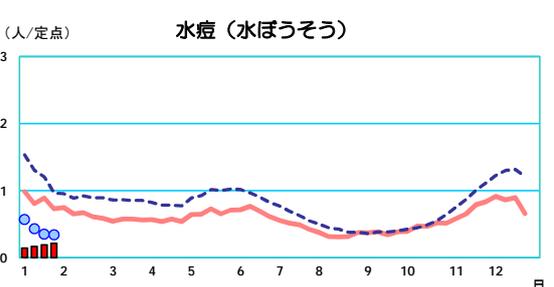
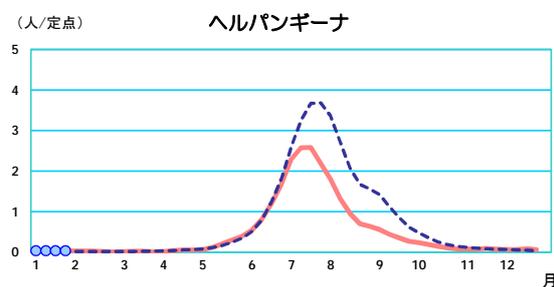
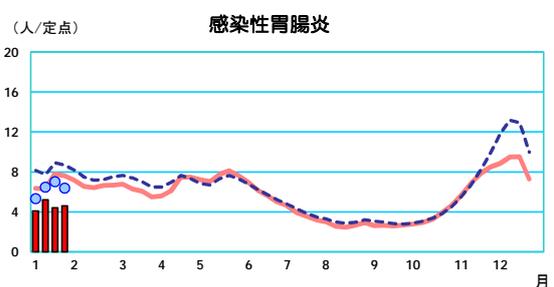
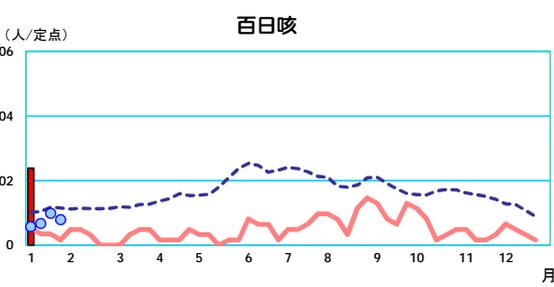
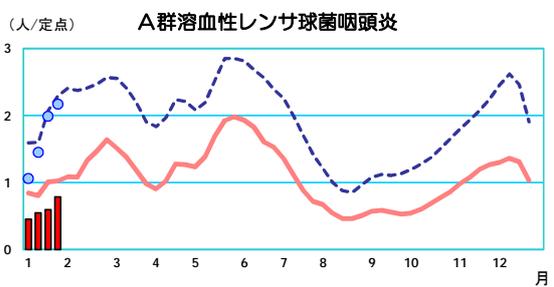
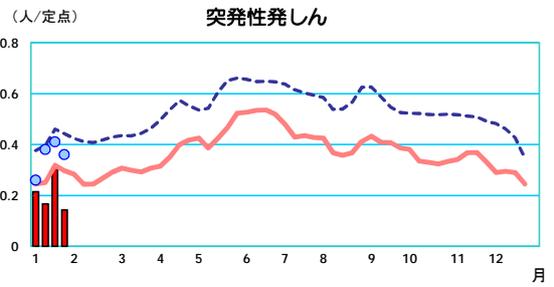
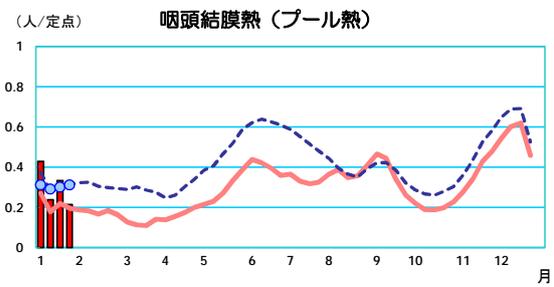
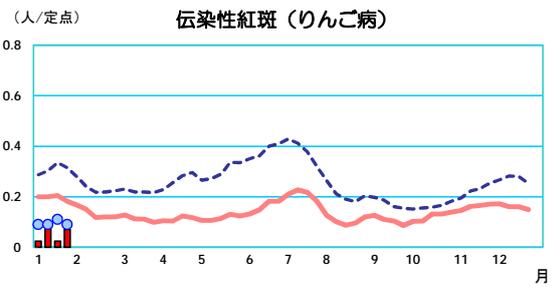
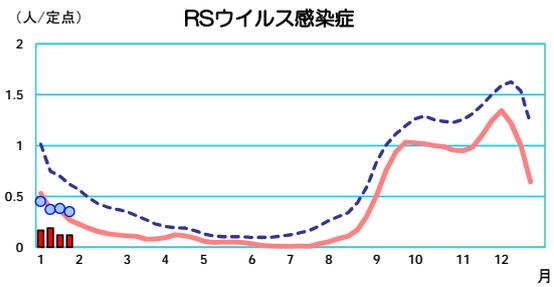
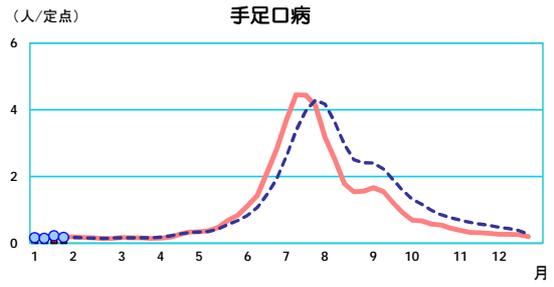
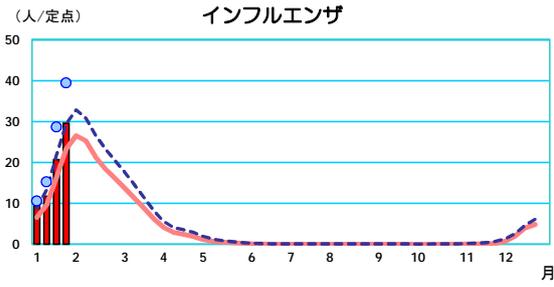
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成29年2月2日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第4週(1月23日～1月29日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市及び全国の発生動向

京都市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は29.59(2,042例)となり、前週20.68(1,427例)から増加して警報レベル「30」にさらに近づきました(図1)。過去5年間の同時期(第4週)と比較すると、2番目に多い報告数となっています(図2)。全国の定点当たり報告数は39.41となり(図1)、33都府県で警報レベルを超えました(図3)。近畿6府県については、滋賀県と和歌山県を除く4府県で警報レベルを超えました。今シーズンは、流行期入りが過去5年と比べて平均約1箇月早いにもかかわらず(図2)、流行のピークはまだ過ぎていないことから、これまでのシーズンよりも患者数が増える可能性もありますので発生動向に注意が必要です。

予防

マスクを着用したり、咳をする際にティッシュやハンカチで口を覆うなど、咳エチケットを行いましょう。流水・石鹸による手洗いはインフルエンザに限らず感染症対策の基本になるので、外出後などはこまめに手を洗いましょう(下記ホームページ参照)。また、空気が乾燥するとインフルエンザにかかりやすくなるので、乾燥しやすい室内では加湿器で適切な湿度(50～60%)を保つことも効果的です。

○手洗いの方法(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

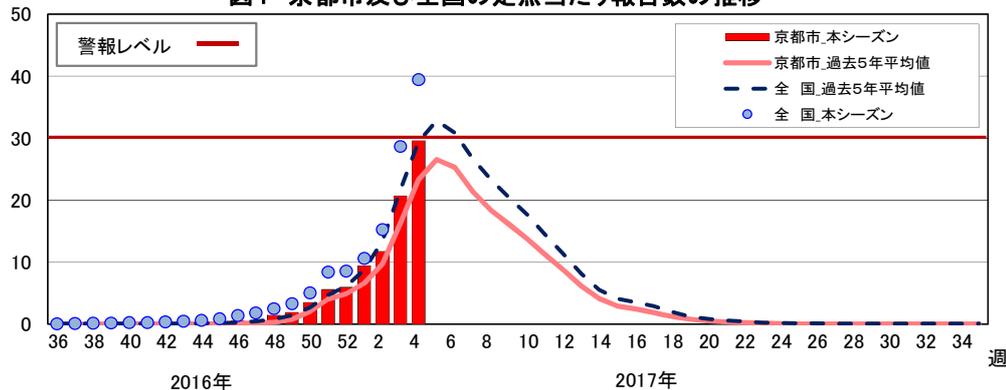


図2 京都市の定点当たり報告数の推移(2011/2012シーズン以降)

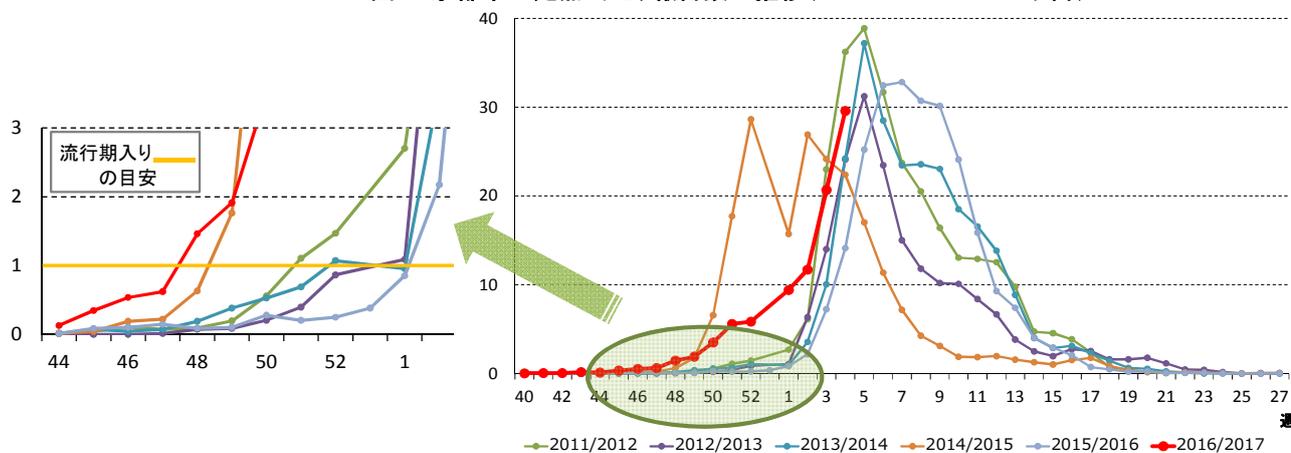
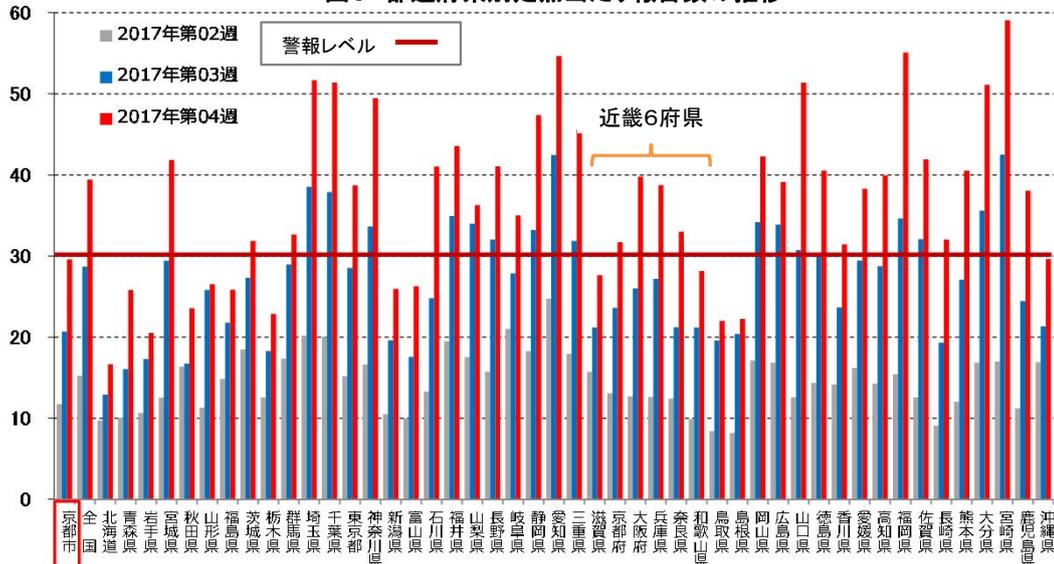


図3 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第4週

疾病,行政区別報告数

平成29年1月23日～平成29年1月29日

データ入手日:平成29年2月2日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	124	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	3						
上京	127	1	3	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	180	-	1	3	33	-	-	1	-	-	-	2	-	-						
中京	101	-	-	1	11	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	48	-	-	-	11	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
山科	281	1	-	5	-	2	3	-	1	-	-	3	-	-						
下京	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	298	1	-	7	12	-	1	-	-	-	1	-	-	-						
右京	244	1	2	4	31	1	2	-	-	-	-	2	-	2						
伏見	346	-	3	4	56	4	1	1	1	-	-	4	-	1						
西京	241	-	-	5	27	-	2	1	3	-	-	1	-	-						
京都市計	2,042	5	9	33	193	9	10	3	6	-	1	13	-	6	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	17.71	0.25	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	0.25	-	3.00						
上京	25.40	0.33	1.00	1.33	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	25.71	-	0.25	0.75	8.25	-	-	0.25	-	-	-	0.50	-	-						
中京	20.20	-	-	0.33	3.67	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	16.00	-	-	-	5.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	40.14	0.25	-	1.25	-	0.50	0.75	-	0.25	-	-	0.75	-	-						
下京	17.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	59.60	0.33	-	2.33	4.00	-	0.33	-	-	-	0.33	-	-	-						
右京	30.50	0.20	0.40	0.80	6.20	0.20	0.40	-	-	-	-	0.40	-	2.00						
伏見	31.45	-	0.43	0.57	8.00	0.57	0.14	0.14	0.14	-	-	0.57	-	0.50						
西京	30.13	-	-	1.00	5.40	-	0.40	0.20	0.60	-	-	0.20	-	-						
京都市計	29.59	0.12	0.21	0.79	4.60	0.21	0.24	0.07	0.14	-	0.02	0.31	-	0.60	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第4週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年1月23日～平成29年1月29日

データ入手日:平成29年2月2日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	70歳以上						
インフルエンザ(※1)	年齢1	2,042	6	17	88	106	93	89	118	119	100	93	68	336	112	146	134	162	95	66	49	45	
RSウイルス感染症	年齢3	5	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		9	-	4	2	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		33	1	-	2	2	5	3	5	6	3	1	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		193	4	18	20	13	14	16	13	7	6	15	13	27	5	22	-	-	-	-	-	-	-
水痘		9	-	1	-	1	1	1	-	3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		10	-	2	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		3	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		6	-	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		13	-	-	-	1	1	-	2	1	4	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	6	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	70歳以上						
インフルエンザ(※1)	年齢1	29.59	0.09	0.25	1.28	1.54	1.35	1.29	1.71	1.72	1.45	1.35	0.99	4.87	1.62	2.12	1.94	2.35	1.38	0.96	0.71	0.65	
RSウイルス感染症	年齢3	0.12	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.21	-	0.10	0.05	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.79	0.02	-	0.05	0.05	0.12	0.07	0.12	0.14	0.07	0.02	0.10	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		4.60	0.10	0.43	0.48	0.31	0.33	0.38	0.31	0.17	0.14	0.36	0.31	0.64	0.12	0.52	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.21	-	0.02	-	0.02	0.02	0.02	-	0.07	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.24	-	0.05	0.17	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.07	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.14	-	0.07	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.31	-	-	-	0.02	0.02	-	0.05	0.02	0.10	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	0.60	-	-	0.20	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	-	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第4週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年2月2日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		386	404	651	809	1,427	2,042
RSウイルス感染症		15	6	7	8	5	5
咽頭結膜熱		41	33	18	10	14	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	32	19	23	25	33
感染性胃腸炎		556	332	172	219	185	193
水痘		2	6	6	7	8	9
手足口病		14	4	6	2	11	10
伝染性紅斑		2	1	1	4	1	3
突発性発しん		12	10	9	7	13	6
百日咳		-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ		9	9	-	1	2	1
流行性耳下腺炎		32	25	18	33	26	13
急性出血性結膜炎		-	-	-	1	-	-
流行性角結膜炎		4	6	4	3	3	6
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	1	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		1,112	868	913	1,127	1,720	2,330

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		5.59	5.86	9.43	11.72	20.68	29.59
RSウイルス感染症		0.36	0.14	0.17	0.19	0.12	0.12
咽頭結膜熱		0.98	0.79	0.43	0.24	0.33	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.93	0.76	0.45	0.55	0.60	0.79
感染性胃腸炎		13.24	7.90	4.10	5.21	4.40	4.60
水痘		0.05	0.14	0.14	0.17	0.19	0.21
手足口病		0.33	0.10	0.14	0.05	0.26	0.24
伝染性紅斑		0.05	0.02	0.02	0.10	0.02	0.07
突発性発しん		0.29	0.24	0.21	0.17	0.31	0.14
百日咳		-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.21	0.21	-	0.02	0.05	0.02
流行性耳下腺炎		0.76	0.60	0.43	0.79	0.62	0.31
急性出血性結膜炎		-	-	-	0.10	-	-
流行性角結膜炎		0.40	0.60	0.40	0.30	0.30	0.60
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	1.00	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		23.18	17.36	16.95	19.60	27.89	36.91

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。